



▲栗焼酎作りでは地域の人と一緒に栗を拾うことも

情報の収集や発信、通信販売などの便利さから、私たちの生活に欠かせないインターネット。そんなインターネットをはじめとしたIT(情報技術)で久井町を元気にしようとするのが静岡県出身の篠崎初光さんです。IT企業で働き、独立後に大阪でパソコン教室を開業。移住・定住フェアで久井町を知り、3年前に移り住みました。

若者 × 情熱

ミハラのチカラ

STORY 08

ITで久井町にイノベーションを

しのぎもとして
篠崎初光さん



どの交通網も整っている。そのメリットを少ない人数で最大限に分け合えるか」と説明します。運営するパソコン教室では、ビデオ通話を使った通信教育なども始め、受講者は県外まで広がっています。ITで起業をめざす若者の誘引です。空き家を活用してシェアハウスや共同のワークスペースを整備し、久井町をIT起業家たちが集まる一大拠点にする構想です。「ITの強みを知る人なら久井の魅力に気づくはず」と定住フェアやインターネットでの情報発信を計画しています。

落ちたまま放置され、イノシシなどを呼び寄せる原因になっていた栗に着目。所属する住民団体が地域の人が集めた栗を買い取り、長崎県のメーカーに出荷して焼酎にしました。この栗焼酎は口コミで評判が広がり、昨年は800本を売り切りました。「少しでも久井に興味を持ってもらいたい」とブログやSNSでも情報発信を続ける篠崎さん。「ITで久井町に新しい風を吹かせたい」と意気込みます。

※このコーナーでは、スポーツや文化・芸術活動などに情熱を注ぐ若者や子どもたちを紹介します。

リバーサイドの彼岸花

写真・絵を募集しています

テーマ

～あなたが残したい三原の風景～

応募資格 市内在住・在勤・在学の人
選考 総務広報課で選考

※応募作品の著作権は市に帰属し、市の公式フェイスブックで紹介させていただく場合があります。

※応募作品は返却しません。

申し込み 郵送またはEメールで写真(L判・データ)か絵(大きさは画用紙A3サイズまで)と①名前②住所・電話番号③撮影・制作日④撮影・題材場所⑤作品名⑥作品エピソード(70字以内)を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6007 somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ

撮影エピソード 撮影者 からずごゆきお 鴉越幸夫さん

秋も深まり、夾竹桃の花も散り、妖艶な彼岸花が土手を赤く染めていました。

鮮やかな赤い色に誘われて思わず撮影しました。



●撮影年月 平成28年10月
●撮影場所 沼田川河口(明神三丁目)

